

平成30年度版

河川水辺の国勢調査マニュアル(案)
(河川空間利用実態調査編)

「河川水辺の国勢調査マニュアル（案）」について

近年、河川環境に対する国民の関心は極めて高く、保全から利用までその要請も極めて多様化している。このような情勢を踏まえて、建設省では従来より各種の調査を実施するとともに、多自然型川づくり等の施策を推進しているが、21世紀に向けて、より安全で潤いのある豊かな河川を創造していくためには、今後なお一層河川環境に配慮した川づくりの推進が必要である。

このため、建設省では、全国の一級水系および二級水系（ダム区間を除く）について、河川事業、河川管理を適切に推進するため、河川を環境という観点からとらえた定期的、継続的、統一的な河川に関する基礎情報の収集整備を図る「河川水辺の国勢調査」を実施することにした。

この「河川水辺の国勢調査マニュアル（案）」は、「河川水辺の国勢調査」実施のための具体的方法をまとめたものであるが、「河川水辺の国勢調査」は緒についたところであり、調査の方法についてもなお検討すべき点が残されていることから、本マニュアル案は当分の間（案）として試行し、今後現地での調査経験や関係の方々からのご助言等を得て、随時必要な改訂を行い、より適切なものとしていくこととしている。

平成5年4月

改訂経緯

平成2年6月	河川空間利用実施実態調査編初版作成
平成3年6月	第1回改訂
平成4年4月	第2回改訂
平成5年4月	第3回改訂
平成15年4月	第4回改訂
平成16年3月	第5回改訂
平成30年12月	第6回改訂

第6回改訂の内容：

- ・「調査対象河川の河川利用の特徴をとらえることができない場合にはマニュアルにはよらない調査方法も可能とする」ことを追記した。
- ・「年間利用者数の推計値算出には、調査実施者の判断※と様式A-5(2)水系集計時のイベント影響度分析票より適宜判断すること」を追記した。
- ・”様式D-1(河川の概要)の作成方法”において、「かわまちづくり/水辺の楽校/河川敷地占用許可準則に基づく都市・地域再生等利用区域」の実施または、指定により河川利用の増加が想定されることから、実施または指定の有無の状況を追加した。
- ・”参考資料：様式D-2(2)河川利用の概要”において、平成26年度の全体とりまとめに従い、様式を一新した。
- ・”河川空間の利用状況を示す写真”は、これまでの調査様式には含まれていないものの提出していただいていたため、調査年度全体の取りまとめに利用するため調査様式に追加した(様式D-8)。
- ・その他、時点更新した。

目 次

1. 概要	4
1.1 調査目的	4
1.2 調査対象とする河川	4
1.3 調査の構成	4
1.4 調査時期	4
2. 河川空間利用実態調査	5
2.1 ブロック区分及び区域区分	5
2.2 調査の方法	6
2.3 調査の留意点	7
2.4 利用場所区分	9
2.5 具体的活動と利用場所・利用形態との関係	9
3. 調査成果の集計	10
3.1 1日の利用者数の推計	10
3.2 年間利用者数の推計	12
4. 提出様式	15
4.1 様式の内容	15
4.2 各様式の作成方法	16
5. 「川の通信簿」	18
<参考資料>	
調査票（1～4）	19
集計様式（A-1～A-7）	23
参考資料：水系整理様式（D-1～D-8）	32

1. 概要

1.1 調査目的

本調査は、河川事業、河川管理を適切に推進させるため、河川を環境という観点からとらえた基礎データの系統的な収集・整理をはかる『河川水辺の国勢調査』の一環として、河川空間の利用状況の実態を把握することを目的とする。

1.2 調査対象とする河川

全国一級水系のうち直轄管理区間（ダムの間を除外）全体を対象とする。

1.3 調査の構成

調査は「河川空間利用者数調査」と「川の通信簿」で構成される。ここで、河川空間の利用とは、レクリエーション利用ばかりでなく、生産の場、生活の場として利用を含めたものまで含めて考えるものとする。

本書では河川空間利用者数調査の調査方法および取りまとめ方法について2章～4章にまとめる。川の通信簿の実施方法については別冊「川の通信簿」実施マニュアルを参考のこと。

1.4 調査時期

利用者数調査は四季を通じてのべ7回実施し、「川の通信簿」は原則として7月から8月にかけて実施する。

河川空間利用者数調査は、台風、洪水等の異常時あるいは指示があるときは、中止するものとする。調査を中止した場合は、休日に関わるものは直近の休日、平日に関わるものは直近の平日に日延べして実施する。

調査実施日は下記の調査日を基本とするが、調査対象河川の河川利用の特徴をとらえることができない場合、調査日を変更しても構わない。

なお、積雪量の多い地域において冬季の河川空間の利用者がきわめて少ないと判断される河川については、必ずしも冬季の調査を実施する必要はない。

河川空間利用者数調査実施日

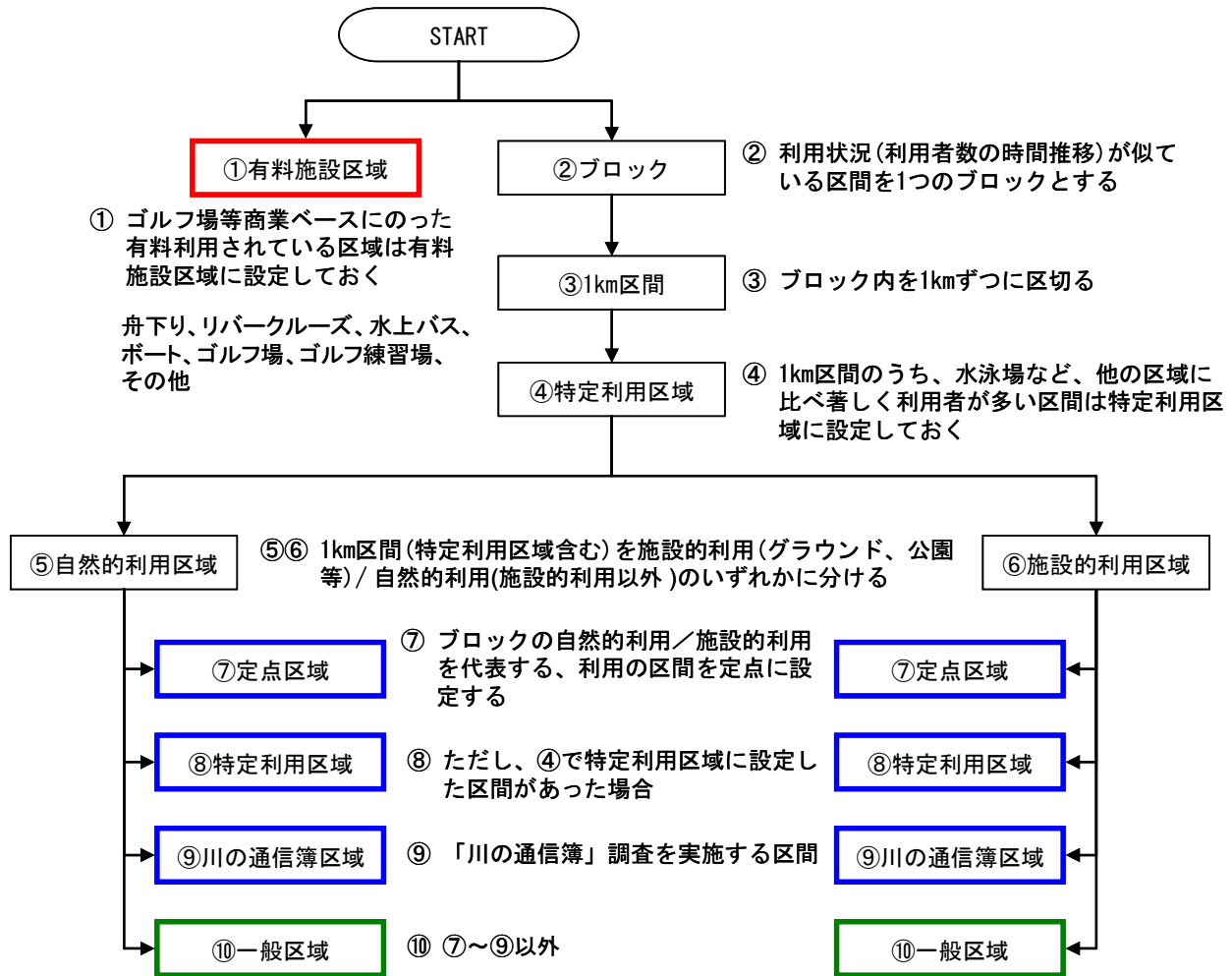
季節	実施日	
春季	休日	4月29日（昭和の日）
		5月5日（こどもの日）
	平日	5月の第3月曜日
夏季	休日	7月の最終日曜日
	平日	7月の最終日曜日の翌日
秋季	休日	11月3日（文化の日）
冬季	休日	1月の第2月曜日（成人の日）

2. 河川空間利用者数調査

河川空間利用者数の調査方法は下記を基本とするが、調査対象河川の河川利用の特徴をとらえることができない場合には、下記にはよらない調査方法も可能とする。

2.1 ブロック区分及び区域区分

調査を行うにあたり、調査対象区間を有料施設区域、定点区域、特定利用区域、川の通信簿実施区域、一般区域に分ける。後述(2.2)するように区域に応じた方法で調査を実施する。



ブロック区分及び区域区分




※ブロック区分においては、『一般区域の一日利用者数は、同じブロックの定点区域での各時間帯の利用者数を元に推計する』ことを踏まえ、対象区間を適宜ブロック分割する。

※ブロック区分、区域区分においては、前回調査以降にグラウンド等集客施設整備や護岸整備等が実施され、河川利用の状況が大きく変貌した場合には適切に見直しを行うものとする。

※なお、自然的利用区域については農耕地とそれ以外の内訳が分かるようにしておく。

2.2 調査の方法

2.1 で行った区分に応じて、以下の調査を行う。(図 ブロック区分及び区域区分 参照)

	: 有料施設調査
	: 定点観測調査
	: 区間観測調査

(1) 有料施設調査

商業ベースにのっている有料施設の利用者については、調査日の利用者数を施設管理者に問い合わせ、調査票 1 (参考資料参照) により調査する。

(2) 定点観測調査

定点観測地点では、日の出から日没までの間で 2 時間毎に利用者数のカウントを調査票 2 (参考資料参照) に従って行う。なお、利用者数が極めて少ないと考えられる時間帯は調査を省いてよい。カウントは利用場所、利用形態ごと (2.4、2.5 参照) に行う。

(3) 区間観測調査

各ブロックの一般区域全体における利用者数を調査員が移動しながら観測し、調査票 3 (参考資料参照) に従ってカウントを行う。調査は調査日の 1 日の内で 1 回実施する。集計とりまとめは 1 km ピッチで行うので、調査票 3 は、左右岸それぞれ 1 km ピッチでの調査を原則とする。但し、前回の調査結果等で利用者数が極端に少ないことが明白な場合は、適宜、調査区間を省く等の判断をしてよいが、集計とりまとめに影響が出ないよう事前に十分検討する。カウントは利用場所、利用形態ごと (2.4、2.5 参照) に行う。

(4) イベント調査

河川の利用状況を把握するために、イベント調査を行う。(イベント調査票 (調査票 4)) 本調査は河川管理者や河川利用施設の運営主体などへの聞き取りによって行う。本調査で対象とするイベントは以下の通りとするが、ここでのイベントには行事や催し物だけでなく、桜の開花や紅葉といった季節の事象による河川利用者も含めてもよい。

開催時期	: 調査年度前年度の 3 月～調査年度 2 月
開催時間帯	: 特に定めない
開催規模	: 参加人数が概ね 100 人以上になるもの
種類	: 特に定めない
運営主体	: 特に定めない

調査結果をイベント調査票 (調査票 4) に記入する。

2.3 調査の留意点

(1) 調査実施日がイベント開催日と重なった場合

定点観測調査及び区間観測調査において、イベント開催が重なった場合は調査実施者の判断^{*}と様式A-5(2)水系集計時のイベント影響度分析票より、以下の四通りの方法から適宜選択すること。なお、選択した方法については、様式A-5(2)に記載すること。

- ①従来どおり気にせずカウントし、一日利用者数を推計する。
- ②イベント参加者を避けてカウントし、一日利用者数を推計する。
- ③1日の利用者数推計後、イベント参加者の人数を減じ、一日利用者数とする。
- ④調査実施日をイベントが開催されない日に変更する。

ただし、②～④を選択した場合は、イベント調査票から1年間の全イベント参加者数の合計を算出し、年間利用者数の推計値に加える。

(2) 区間観測調査実施にあたっての留意点

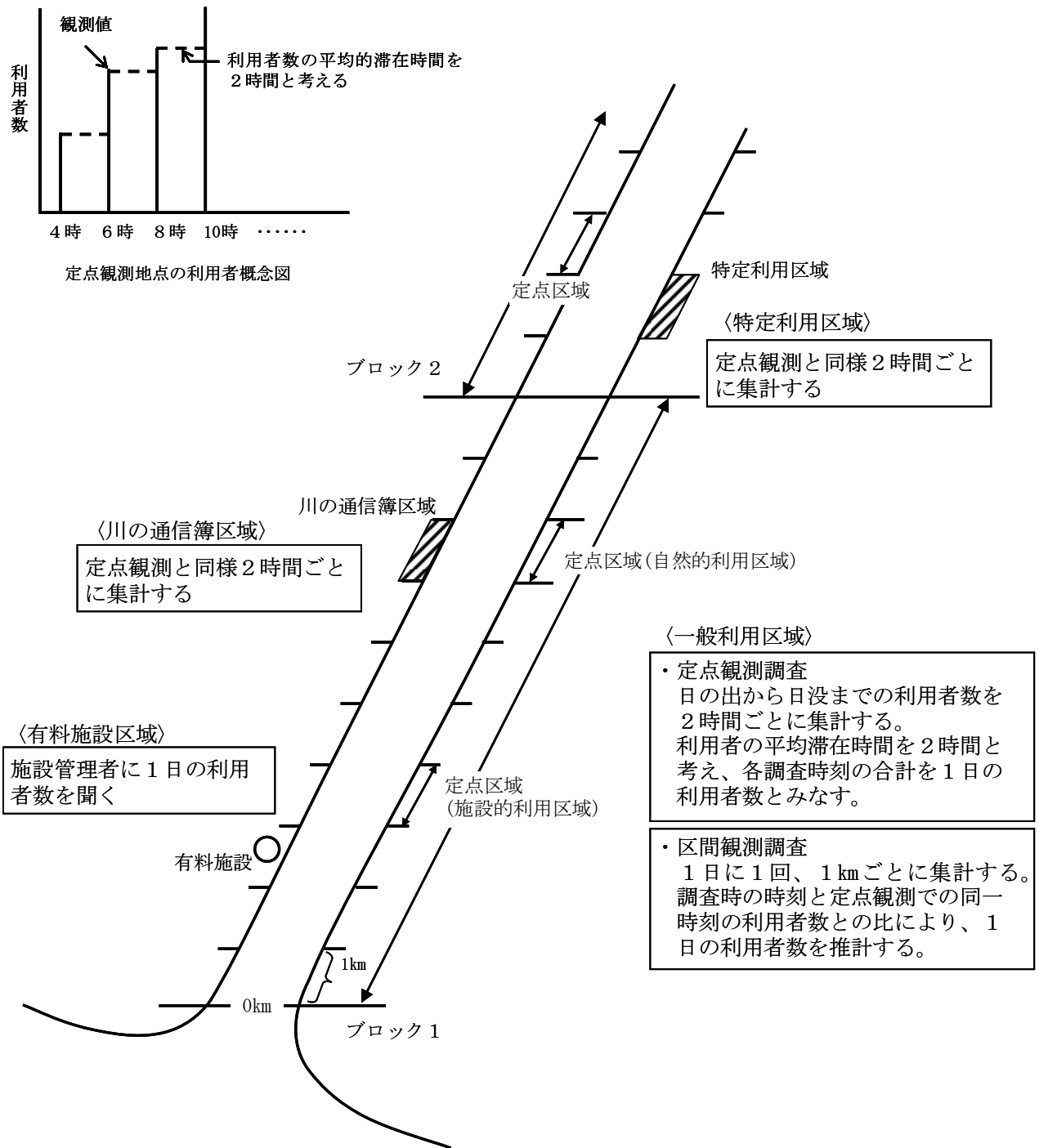
- ・調査はできるだけ利用者の多いと考えられる時間帯に実施する。
- ・山付き区間等で調査のための移動が困難な区域にあつては利用形態がほぼ同じと考えられる区間の値より、面積比、延長比等を用いて推定する。

(3) その他

- ・適宜、河川空間の利用状況を示す写真をデジタルカメラにて撮影する。
- ・調査票は基本形なので、随時、使用しやすいように変更してもよい。
- ・調査員は、身元が分かるように身分証等を携帯する。

調査実施者の判断^{*})

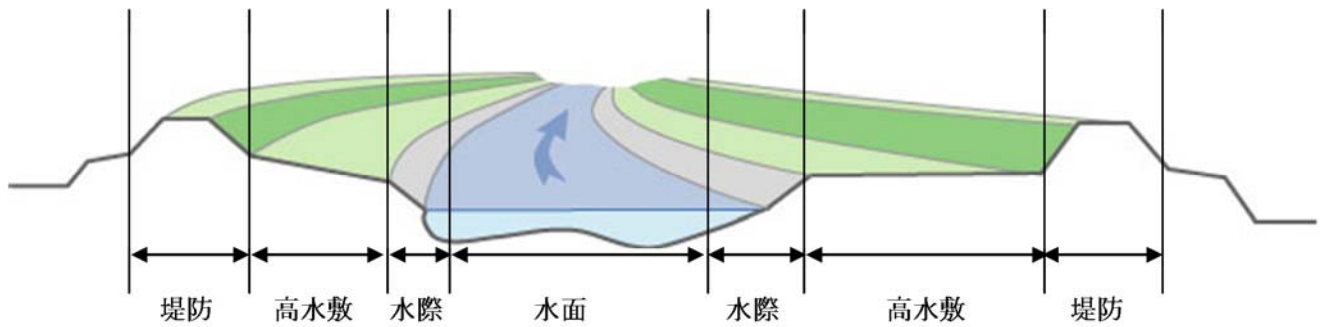
- 1) 秋季・冬季の調査日にある程度の規模のイベントが開催される場合は、平日利用の推計値への影響が大きいことが想定される。そのため、調査実施日をイベントが開催されない日に変更する等配慮が必要である。(季別利用者の推計のうち秋季・冬季は、休日の観測調査のみで推計するため)
- 2) 普段、水面利用があまり活発でない河川において、イカダ下り、ボート下り等における水面(水上スポーツ)を利用したイベント開催が調査日と重なる場合、一日利用者推計値がかなり過大となる場合(参加人数が多く影響区間が長い)があり、当該利用形態としての年間利用者数の推計値が実態にそぐわない結果となることにつながる。調査実施日をイベントが開催されない日に変更する等配慮が必要である。



河川空間利用者数現地調査の概要

2.4 利用場所区分

調査の実施にあたっては、利用場所を以下のように区分する。



- ・水際と高水敷は低水護岸部を目安として判断する。
- ・水面と水際は利用者の装備(服装、ボート等)を目安に判断する。

2.5 具体的活動と利用場所・利用形態との関係

調査の実施にあたっては、利用場所ごとに利用者の活動を以下のように分類する。

利用場所と利用形態		具体的活動
利用場所	利用形態	
高水敷	スポーツ	ランニング、軽い運動、スポーツ、スポーツの観戦、サイクリング、モトクロスなど
	散策・その他	上記以外の利用
水面	水上スポーツ	ウィンドサーフィン、カヌー、ヨット、ジェットスキー、水上スキー、レガッタ、ボートなど
	水泳・その他	水泳、遊覧船、上記以外の利用(釣りは除く)
	釣り	釣り
水際	釣り	釣り
	水遊び・その他	釣り以外の利用
堤防	散策・その他	すべての利用

3. 調査成果の集計

3.1 1日の利用者数の推計

1日の集計結果は、1kmピッチ、ブロック別、河川別、水系別、そして地方整備局等の全体の集計までを行う。地方整備局集計では沿川市区町村人口等とともに各地方整備局等全体の集計を行う。

- ア. 1kmピッチでの河川利用者数の集計；項目毎：様式A-1（参考資料参照）
- イ. 1kmピッチでの河川利用者数の集計；項目合計：様式A-2（参考資料参照）
- ウ. ブロック集計：様式A-3（参考資料参照）
- エ. 河川集計：様式A-4（参考資料参照）
- オ. 水系集計：様式A-5（参考資料参照）
- カ. 地方整備局集計：様式A-6（参考資料参照）
- キ. 「川の通信簿」実施箇所利用者数水系集計：様式A-7（参考資料参照）

1日の利用者数推計にあたっての基本的考え方は次の通りである。

(1) 有料施設区域

有料施設調査結果をそのまま用いる。

(2) 定点区域

定点区域では2時間毎に利用者数を観測している。利用者の平均滞在時間を2時間と考えて、各観測時刻の利用者数を合計したものを、1日の利用者数とする。

(3) 特定利用区域

(2) 定点区域に同じ。

(4) 一般区域

同じブロックに属する定点区域での1日の利用者数時間分布と、一般区域での時間分布が同一であると考え、区間観測した時刻と同時刻帯の定点観測の値の比を元に一般区域の1日の利用者数を推計する。

同時刻の利用者数が0の場合は前後の時刻の利用者数の平均値を用いる。前後の利用者数も0の場合は1日の全利用者数との比を用いて推計する。具体的には次頁を参考に係数を算出する。

< 区間観測における利用者数集計例 >

定点観測調査票

場 所	利用形態	調査時刻							合計
		6時～ 8時	8時～ 10時	10時～ 12時	…				
高水敷	スポーツ	A ₁	A ₂	A ₃	…				ΣA _i
	散策・その他	…	…	…	…				…
水 面	水上スポーツ	…	…	…	…				…
	水泳・その他	…	…	…	…				…
	釣り	…	…	…	…				…
水 際	釣り	…	…	…	…				…
	水遊び・その他	…	…	…	…				…
堤 防	散策・その他	…	…	…	…				…
合 計		I ₁	I ₂	I ₃	…				ΣI _i

区間観測集計表

区間	区域	利用形態		区 間 観測結果	観測時刻	同一時刻の 定点観測結果	定点観測での 総利用者数	係数 α	区間一日 利用者数
○～○ km	自然	高水敷	スポーツ	P ₁	9:00	A ₂	ΣA _i	ΣA _i /A ₂	P ₁ × α
			散策・その他	…					
		水 面	水上スポーツ	…					
			水泳・その他						
			釣り						
		水 際	釣り						
			水遊び・その他						
		堤 防	散策・その他						
…									

< 定点観測の利用者数が観測されない場合の係数 (α) の求め方 >

いま、当該時刻の定点観測利用者数を A₂、前後の時刻の利用者数を、それぞれ A₁、A₃ とすれば、係数 (α) は、次のように求められる。

(1) A₂ = 0 で、A₁ ≠ 0 または A₃ ≠ 0 の場合 …………… $\alpha = \frac{\sum A_i}{(A_1 + A_3)/2}$

(2) A₂ = 0 で、A₁ ならびに A₃ = 0 の場合 …………… $\alpha = \frac{\sum I_i}{I_2}$

(3) A₂ = 0 で、A₁ ならびに A₃ = 0、I₂ = 0 の場合 …………… $\alpha = \frac{\sum I_i}{(I_1 + I_3)/2}$

(4) (A₁, A₂, A₃) = 0 で、(I₁, I₂, I₃) = 0 の場合 …… α = 1.0

3.2 年間利用者数の推計

年間7回の各調査日の結果をもとに1年間の利用者数を推計する。

A_n : 1回目調査日（4月29日；休日）の利用者数

B_n : 2回目調査日（5月5日；休日）の利用者数

C_n : 3回目調査日（5月第3月曜日；平日）の利用者数

D_n : 4回目調査日（7月最終日曜日；休日）の利用者数

E_n : 5回目調査日（7月最終日曜日の翌日；平日）の利用者数

F_n : 6回目調査日（11月3日；休日）の利用者数

G_n : 7回目調査日（1月第2月曜日；休日）の利用者数

α : 観測日の天候による係数

（観測日が晴天の場合は1、雨天の場合は晴係数（2.850））

河川利用は季節により変化すると考えられるため、基本的には各季節で実施した調査日の利用者数に各季節の日数（休日、土曜日、平日の別）を乗じて年間の利用者数を算出する。

春：3/1～5/31 92日間

夏：6/1～8/31 92日間

秋：9/1～11/30 91日間

冬：12/1～2/28(29) 90(91)日間

具体的な算出方法を以下に示す。

この計算において、必要な係数は平日係数、雨係数、晴係数であり、平日係数は年度内の調査結果で決定され、後者2つは既往の調査結果からそれぞれ0.351、2.850と当面設定する。

また、季節別に休日、土曜日、平日の天候を通算で調査しておく必要があるため、調査対象河川もしくは水系ごとにあらかじめ最寄りの気象台を決めておき、この気象台の記録を使うようにする。

なお、3月1日から3月31日の休日・平日等の区分ならびに天候区分は前年度の3月のものを利用する。

(1) 平日係数

- ・平日係数は年度内の調査結果より河川ごとに算定する。
- ・平日係数の算定方法は以下のとおりである。

$$\text{平日係数} = \left(\frac{2C_n \alpha_C}{A_n \alpha_A + B_n \alpha_B} + \frac{E_n \alpha_E}{D_n \alpha_D} \right) \div 2$$

ただし、平日係数が1を超える場合は1とする。

(2) 雨係数（晴係数）

雨係数（晴係数）は、平成3年4月29日（雨天日）と5月5日（晴天日）の調査結果である、509,441人と1,452,153人の比により、雨係数は0.351、晴係数は2.850（雨係数の逆数）と当面設定する。

年間利用者数は、季節、休・平日、天候ごとに利用者数を推計したものの合計として求める。
 各観測日の利用者数を以下のようにした場合、季節、休・平日、天候に応じた利用者数は、a)～d) に示す各式で表される。

区分	季節	平日・休日	天候	日数	高水敷		水面			水際		堤防
					スポーツ	散策・その他	水上スポーツ	水泳・その他	釣り	釣り	水遊び・その他	散策・その他
観測値	春季	4/29 休日		—	A ₁	A ₂	…					
		5/5 休日		—	B ₁	B ₂	…					
		5/ 平日		—	C ₁	C ₂	…					
	夏季	7/ 休日		—	D ₁	D ₂	…					
		7/ 平日		—	E ₁	E ₂	…					
	秋季	11/3 休日		—	F ₁	F ₂	…					
冬季	1/ 休日		—	G ₁	G ₂	…						
推計値	春季	休日	晴		a ₁	a ₂	…					
			雨		b ₁	b ₂	…					
		土曜日	晴		c ₁	c ₂	…					
			雨		d ₁	d ₂	…					
	平日	晴		e ₁	e ₂	…						
		雨		f ₁	f ₂	…						
	小計					…						
	夏季	休日	晴		g ₁	g ₂	…					
			雨		h ₁	h ₂	…					
		土曜日	晴		i ₁	i ₂	…					
			雨		j ₁	j ₂	…					
	平日	晴		k ₁	k ₂	…						
		雨		l ₁	l ₂	…						
	小計					…						
	秋季	休日	晴		m ₁	m ₂	…					
			雨		n ₁	n ₂	…					
		土曜日	晴		o ₁	o ₂	…					
			雨		p ₁	p ₂	…					
	平日	晴		q ₁	q ₂	…						
		雨		r ₁	r ₂	…						
	小計					…						
	冬季	休日	晴		s ₁	s ₂	…					
			雨		t ₁	t ₂	…					
		土曜日	晴		u ₁	u ₂	…					
雨				v ₁	v ₂	…						
平日	晴		w ₁	w ₂	…							
	雨		x ₁	x ₂	…							
小計					…							
年間合計												

a) 春季

$$a_n = \text{春季} \cdot \text{休日} \cdot \text{晴の日数} \times (A_n \times \alpha_A + B_n \times \alpha_B) / 2$$

$$b_n = \text{春季} \cdot \text{休日} \cdot \text{雨の日数} \times (A_n \times \alpha_A + B_n \times \alpha_B) \times \text{雨係数} / 2$$

$$c_n = \text{春季} \cdot \text{土曜日} \cdot \text{晴の日数} \times (A_n \times \alpha_A + B_n \times \alpha_B + 2C_n \times \alpha_C) / 4$$

$$d_n = \text{春季} \cdot \text{土曜日} \cdot \text{雨の日数} \times (A_n \times \alpha_A + B_n \times \alpha_B + 2C_n \times \alpha_C) \times \text{雨係数} / 4$$

$$e_n = \text{春季} \cdot \text{平日} \cdot \text{晴の日数} \times C_n \times \alpha_C$$

$$f_n = \text{春季} \cdot \text{平日} \cdot \text{雨の日数} \times C_n \times \alpha_C \times \text{雨係数}$$

b) 夏季

$$g_n = \text{夏季} \cdot \text{休日} \cdot \text{晴の日数} \times D_n \times \alpha_D$$

$$h_n = \text{夏季} \cdot \text{休日} \cdot \text{雨の日数} \times D_n \times \alpha_D \times \text{雨係数}$$

$$i_n = \text{夏季} \cdot \text{土曜日} \cdot \text{晴の日数} \times (D_n \times \alpha_D + E_n \times \alpha_E) / 2$$

$$j_n = \text{夏季} \cdot \text{土曜日} \cdot \text{雨の日数} \times (D_n \times \alpha_D + E_n \times \alpha_E) \times \text{雨係数} / 2$$

$$k_n = \text{夏季} \cdot \text{平日} \cdot \text{晴の日数} \times E_n \times \alpha_E$$

$$l_n = \text{夏季} \cdot \text{平日} \cdot \text{雨の日数} \times E_n \times \alpha_E \times \text{雨係数}$$

c) 秋季

$$m_n = \text{秋季} \cdot \text{休日} \cdot \text{晴の日数} \times F_n \times \alpha_F$$

$$n_n = \text{秋季} \cdot \text{休日} \cdot \text{雨の日数} \times F_n \times \alpha_F \times \text{雨係数}$$

$$o_n = \text{秋季} \cdot \text{土曜日} \cdot \text{晴の日数} \times F_n \times \alpha_F \times (1 + \text{平日係数}) / 2$$

$$p_n = \text{秋季} \cdot \text{土曜日} \cdot \text{雨の日数} \times F_n \times \alpha_F \times \text{雨係数} \times (1 + \text{平日係数}) / 2$$

$$q_n = \text{秋季} \cdot \text{平日} \cdot \text{晴の日数} \times F_n \times \alpha_F \times \text{平日係数}$$

$$r_n = \text{秋季} \cdot \text{平日} \cdot \text{雨の日数} \times F_n \times \alpha_F \times \text{雨係数} \times \text{平日係数}$$

d) 冬季

$$s_n = \text{冬季} \cdot \text{休日} \cdot \text{晴の日数} \times G_n \times \alpha_G$$

$$t_n = \text{冬季} \cdot \text{休日} \cdot \text{雨の日数} \times G_n \times \alpha_G \times \text{雨係数}$$

$$u_n = \text{冬季} \cdot \text{土曜日} \cdot \text{晴の日数} \times G_n \times \alpha_G \times (1 + \text{平日係数}) / 2$$

$$v_n = \text{冬季} \cdot \text{土曜日} \cdot \text{雨の日数} \times G_n \times \alpha_G \times \text{雨係数} \times (1 + \text{平日係数}) / 2$$

$$w_n = \text{冬季} \cdot \text{平日} \cdot \text{晴の日数} \times G_n \times \alpha_G \times \text{平日係数}$$

$$x_n = \text{冬季} \cdot \text{平日} \cdot \text{雨の日数} \times G_n \times \alpha_G \times \text{雨係数} \times \text{平日係数}$$

※利用者数は小数点第一位を四捨五入する。

※年間利用者数 = a) ~ d) の各式の合計

ただし、2.3 調査の留意点(1)の②~④を採用して定点および区間観測調査を行った場合は
年間利用者数 = a) ~ d) の各式の合計 + 年間イベント参加者数

4. 提出様式

4.1 様式の内容

(1) 調査結果 (2) 調査結果とりまとめ様式 (3) 水系における河川利用者調査の結果整理様式、を作成し提出する。

作成にあたっては、文章原稿は、マイクロソフト社ワープロソフト『ワード』、図表原稿はマイクロソフト社表計算ソフト『エクセル』で読み込み可能なファイルで提出すること。

データ(CD-ROM等)もあわせて提出する。

(1) 調査結果

- | | |
|------------------|--------|
| ア. 有料施設区域利用者数調査票 | (調査票1) |
| イ. 定点観測調査票 | (調査票2) |
| ウ. 区間観測調査票 | (調査票3) |
| エ. イベント調査票 | (調査票4) |

(2) 調査結果とりまとめ様式

- | | |
|-----------------------------|---------|
| ア. 1 km ピッチでの河川利用者数の集計；項目毎 | (様式A-1) |
| イ. 1 km ピッチでの河川利用者数の集計；項目合計 | (様式A-2) |
| ウ. ブロック集計 | (様式A-3) |
| エ. 河川集計 | (様式A-4) |
| オ. 水系集計 | (様式A-5) |
| カ. 地方整備局集計 | (様式A-6) |
| キ. 「川の通信簿」実施箇所利用者数水系集計 | (様式A-7) |

(3) 水系における河川利用者調査の結果整理の様式

- | | |
|---------------------------|-----------|
| ア. 河川の概要 | (様式D-1) |
| イ. 河川利用の概要 | (様式D-2) |
| ウ. 河川利用施設位置図 | (様式D-3) |
| エ. 河川利用施設一覧表 | (様式D-3-1) |
| オ. 利用者数調査結果総括表 | (様式D-4) |
| カ. 年間利用者数総括表 | (様式D-5) |
| キ. 「川の通信簿」実施箇所利用者数調査結果総括表 | (様式D-6) |
| ク. 「川の通信簿」実施箇所年間利用者数総括表 | (様式D-7) |
| ケ. 河川空間の利用状況を示す写真 | (様式D-8) |

なお、利根川水系などのように河川の規模が大きく、支川・派川単位で調査結果をまとめるのが適切と判断される河川については、水系単位のほかに支川・派川単位別にとりまとめを行う。

4.2 各様式の作成方法

水系様式のうち、(2) 調査結果とりまとめ様式については、本マニュアルの 4.1 1 日の利用者数の推計の項でとりまとめたものを活用する。

(3) 水系における河川利用者調査の結果整理様式(各様式は参考資料参照)の作成方法については、以下に示す。

(1) 様式 D-1 (河川の概要) の作成方法

以下の内容について 44 文字×18 行程度で記述する。

- ・河川の概要

水源(名称および標高) / 流下経路 / 主要支川名 / 幹線流路延長 / 流域面積

- ・流域の概要

流域構成市町村名 / 主要市町村名 / 流域内人口 / 沿川市区町村名 / 山地、平地の比率

- ・河川の景観および水質の構成

瀬・淵の状況 / 水質の概要と近年の動向

- ・高水敷の状況および河川利用施設

高水敷の存在状況 / 自然的利用と施設的利用の区分 / 河川利用施設数 / 有料施設数 / 利用施設の種類

- ・河川環境(利用)に関する事業

かわまちづくり / 水辺の楽校 / 河川敷地占用許可準則に基づく都市・地域再生等利用区域

(2) 様式 D-2 (河川利用の概要) の作成方法

以下の内容について、44 文字×20 行程度で記述する。

- ・各調査日の利用者数

季節変化 / 一日利用者数 / 利用形態(できるだけ詳しく)・分布状況の特徴 / 背後地・交通手段等との関わり / 河川利用施設での利用

- ・年間利用者数

年間利用者数 / 一人あたりの年間利用回数 / 利用形態内訳 / 利用場所内訳 / 河川の特徴と利用形態・利用場所との関わり / その他

- ・前回調査との比較(増減が大きい場合にはその理由も記述)

(3) 様式 D-3 (河川利用施設位置図) の作成方法

a. 河川利用施設一覧表

河川区域内利用施設を公園、運動場、ゴルフ場、係留施設、遊歩道、サイクリングロード、トイレ、駐車場、休憩施設(四阿・木陰等)、親水施設、その他(都市・地域再生等利用区域を含む)の 11 種類に分類して河川利用施設一覧表: D-3-1(参考資料参照)として整理する。それぞれの種類ごとに図中に表示できるよう No.をつける。当一覧表も成果品として提出する。

b. 河川利用施設位置図の作成

河川利用施設位置図の作成については、以下に示すア. 原図の作成とイ. 河川利用施設位置

図の作成の方法を基本とし、作成された図面は画像ファイル（jpg 方式）で提出する。
また、作成された原図及び河川利用施設位置図は、次回調査時の河川利用施設位置図のベースとして活用することを前提とし、大きな地形改変等の各河川の状況に応じて見直しを行うものとする。

ア. 原図の作成

直轄管理区間すべてを含む範囲の地形図（縮尺 2 万 5 千分の 1～5 万分の 1）を使用して、スキャナー等により画像ファイルとして作成し、出力時に A 3 サイズで十分認識できる程度の縮尺を任意で設定する。縮尺設定において、直轄管理区間全体が 1 枚に収まることが望ましいが、各河川の状況に応じて複数枚になることも可とする。原図には方位も入れる。原図も成果品として画像ファイル（jpg 方式）で提出する。

イ. 河川利用施設位置図の作成

原図をベースとして以下の作図及び作表を行う。

直轄管理区間の河道の兩岸を太線とし、川幅が狭い場合は 1 本の川で表示する。a. で作成した河川利用施設一覧表で用いた○囲み数字を用いて施設を表示し、種類別に丸数字に着色する。

河川利用施設	着色
公園	黄色 ●
運動場	青色 ●
ゴルフ場	緑色 ●
係留施設	赤色 ●
遊歩道	水色 ●
サイクリングロード	黒色 ●
トイレ	茶色 ●
駐車場	紫色 ●
休憩施設（四阿・木陰等）	桃色 ●
親水施設	明るい緑色 ●
その他	橙色 ●

着色は上記のとおりとする。利用施設が多数あり、表示が困難な場合には適宜、引き出し線を利用する。そして、図中の余白を使って、作成した河川利用施設一覧表を貼り込むものとする。

（４）様式 D－４（利用者数調査結果総括表）の作成方法

地方整備局内の全水系について、様式 D－４を作成し、1 年間の調査結果を総括する。人口は、総務省が公表している「住民基本台帳に基づく人口 当該年 1 月 1 日現在」のものをを用いる。

（５）様式 D－５（年間利用者数総括表）の作成方法

年間利用者数（推計値）は地方整備局内の全水系について様式 D－５にとりまとめる。

(6) 様式D-6 (「川の通信簿」実施箇所利用者数調査結果総括表)の作成方法

「川の通信簿」実施箇所における河川空間利用者数調査の定点観測結果より、地方整備局内の全水系について、様式D-6を作成し、1年間の調査結果を総括する。

(7) 様式D-7 (「川の通信簿」実施箇所年間利用者数総括表)の作成方法

「川の通信簿」実施箇所における河川空間利用者数調査の定点観測結果より、年間7回の各調査日の結果をもとに、1年間の利用者数を推計する。

年間利用者数の推計は、前述の様式D-5の作成で示した考え方に準じて行い、地方整備局内の全水系について様式D-7にとりまとめる。

(8) 様式D-8 (河川区間の利用状況を示す写真)の作成方法

河川空間の利用状況を示す写真については、主要な利用状況の写真とともにその写真の位置や状況、撮影年月日を様式D-8にとりまとめる。

撮影時には、河川利用者の個人情報に留意し、「撮影時に許可を得る」、「後ろ姿を撮影する」など配慮すること。

なお、様式D-8については複数枚作成してもよい。

また、様式D-8の原稿はマイクロソフト社プレゼンテーションソフト『パワーポイント』で読み込み可能なファイルで提出してもよい。

5. 「川の通信簿」

「川の通信簿」の実施方法については、「川の通信簿」実施マニュアルを参照のこと。

— 参 考 资 料 —

参考資料：調査票 1

有料施設区域利用者数調査票

地整名	事務所名	水系名	河川名	調査日	天候	調査員	所属
〇 〇	〇〇川河川事務所	〇〇川	〇〇川	2005/5/5(木)			

ブロック	区間	左右岸の別	有料施設名	管理者名	高水敷		水面			水際		堤防
					スポーツ	散策・その他	水上スポーツ	水泳・その他	釣り	釣り	水遊び・その他	
下流	10.3~11.7km	左岸	〇〇ゴルフ	〇〇管理財団	120							

参考資料：調査票2

定点観測調査票

事務所名		水系名・河川名	川水系			川
調査年月日	年 月 日()	天 候				
ブロック名	(No. ,)	左右岸の別	左・右	区間	km ~	km
区 域	特定利用区域・一般利用区域		自然的利用区域・施設的利用区域			
調査員・所属						

※定点が「川の通信簿」実施箇所である場合には、ブロック名欄下段の()内に「川の通信簿」の実施箇所の番号および名称を記入する。

場 所	利用形態	調査時刻								合計
		時～ 時	時～ 時	時～ 時	時～ 時	時～ 時	時～ 時	時～ 時	時～ 時	
高水敷	スポーツ									
	散策・その他									
水 面	水上スポーツ									
	水泳・その他									
	釣り									
水 際	釣り									
	水遊び・その他									
堤 防	散策・その他									

参考資料：調査票3

区間観測調査票

事務所名		水系名・河川名	川水系	川
調査年月日	年 月 日()	天候		
ブロック名				
調査員・所属				

左右岸別		左岸・右岸	左岸・右岸	左岸・右岸	左岸・右岸	左岸・右岸	左岸・右岸
区 間		km～ km	km～ km	km～ km	km～ km	km～ km	km～ km
区 域		特・一般(自, 施)	特・一般(自, 施)	特・一般(自, 施)	特・一般(自, 施)	特・一般(自, 施)	特・一般(自, 施)
調査時刻		時 分	時 分	時 分	時 分	時 分	時 分
利用形態	高水敷	スポーツ					
		散策・その他					
	水 面	水上スポーツ					
		水泳・その他					
		釣り					
	水 際	釣り					
		水遊び・その他					
	堤 防	散策・その他					

参考資料：調査票 4
 イベント調査票

No	開始		終了		ブロックNo	開催場所		イベントの内容			
	年月日	曜日	年月日	曜日		時間	時間	施設名	イベント名称	主催者	内容
1	2005/1/1	土	2005/1/1	土	3	32.5	33.5	〇〇大会			100
2						~	~				
3						~	~				
4						~	~				

参考資料：様式A-3
ブロック集計

(人)

ブロック名			調査日	年	月	日()	天候
区域	場所	利用形態	利用者数	小計			合計
一般区域	施設の利用区域	高水敷	スポーツ				
			散策・その他				
		水面	水上スポーツ				
			水泳・その他				
		水際	釣り				
			水遊び・その他				
	堤防	散策・その他					
	自然の利用区域	高水敷	スポーツ				
		散策・その他					
水面		水上スポーツ					
		水泳・その他					
	水際	釣り					
		水遊び・その他					
堤防	散策・その他						
特定区域	施設の利用区域	高水敷	スポーツ				
			散策・その他				
		水面	水上スポーツ				
			水泳・その他				
		水際	釣り				
			水遊び・その他				
	堤防	散策・その他					
	自然の利用区域	高水敷	スポーツ				
		散策・その他					
水面		水上スポーツ					
		水泳・その他					
	水際	釣り					
		水遊び・その他					
堤防	散策・その他						
有料施設区域	高水敷	スポーツ					
		散策・その他					
	水面	水上スポーツ					
		水泳・その他					
	水際	釣り					
		水遊び・その他					
堤防	散策・その他						
一般+特定+有料	施設+有料	高水敷	スポーツ				
			散策・その他				
		水面	水上スポーツ				
			水泳・その他				
		水際	釣り				
			水遊び・その他				
	堤防	散策・その他					
	自然的	高水敷	スポーツ				
		散策・その他					
水面		水上スポーツ					
		水泳・その他					
	水際	釣り					
		水遊び・その他					
堤防	散策・その他						
ブロック全体	場所別	高水敷	スポーツ				
			散策・その他				
		水面	水上スポーツ				
			水泳・その他				
		水際	釣り				
			水遊び・その他				
	堤防	散策・その他					
	形態別	スポーツ	スポーツ				
水泳・水遊び		水上スポーツ					
		水泳・その他					
		水遊び・その他					
	釣り	水面					
		水際					
	散策等	散策等					
		その他					

参考資料：様式A-4

河川集計

(人)

河川名			調査日	年	月	日()	天候
区域	場所	利用形態	利用者数	小計			合計
一般区域	施設の利用区域	高水敷	スポーツ				
			散策・その他				
		水面	水上スポーツ				
			水泳・その他				
	水際	釣り					
		水遊び・その他					
		堤防	散策・その他				
自然の利用区域	高水敷	スポーツ					
		散策・その他					
	水面	水上スポーツ					
		水泳・その他					
水際	釣り						
	水遊び・その他						
	堤防	散策・その他					
特定区域	施設の利用区域	高水敷	スポーツ				
			散策・その他				
		水面	水上スポーツ				
			水泳・その他				
	水際	釣り					
		水遊び・その他					
		堤防	散策・その他				
自然の利用区域	高水敷	スポーツ					
		散策・その他					
	水面	水上スポーツ					
		水泳・その他					
水際	釣り						
	水遊び・その他						
	堤防	散策・その他					
有料施設区域	高水敷	スポーツ					
		散策・その他					
	水面	水上スポーツ					
		水泳・その他					
水際	釣り						
	水遊び・その他						
堤防	散策・その他						
一般+特定+有料	施設+有料	高水敷	スポーツ				
			散策・その他				
		水面	水上スポーツ				
			水泳・その他				
	水際	釣り					
		水遊び・その他					
		堤防	散策・その他				
自然	高水敷	スポーツ					
		散策・その他					
	水面	水上スポーツ					
		水泳・その他					
水際	釣り						
	水遊び・その他						
	堤防	散策・その他					
河川全体	場所別	高水敷	スポーツ				
			散策・その他				
		水面	水上スポーツ				
			水泳・その他				
	水際	釣り					
		水遊び・その他					
		堤防	散策・その他				
形態別	スポーツ	スポーツ					
	水泳・水遊び	水上スポーツ					
		水泳・その他					
	釣り	水面					
散策等	水際						
	散策等						
	その他						

参考資料：様式A-5(1)

(1) 水系集計

(人)

水系名			調査日	年	月	日()	天候
区域	場所	利用形態	利用者数	小計			合計
一般区域	施設の利用区域	高水敷	スポーツ				
			散策・その他				
		水面	水上スポーツ				
			水泳・その他				
	水際	釣り					
		水遊び・その他					
		堤防	散策・その他				
自然の利用区域	高水敷	スポーツ					
		散策・その他					
	水面	水上スポーツ					
		水泳・その他					
水際	釣り						
	水遊び・その他						
	堤防	散策・その他					
特定区域	施設の利用区域	高水敷	スポーツ				
			散策・その他				
		水面	水上スポーツ				
			水泳・その他				
	水際	釣り					
		水遊び・その他					
		堤防	散策・その他				
自然の利用区域	高水敷	スポーツ					
		散策・その他					
	水面	水上スポーツ					
		水泳・その他					
水際	釣り						
	水遊び・その他						
	堤防	散策・その他					
有料施設区域	高水敷	スポーツ					
		散策・その他					
	水面	水上スポーツ					
		水泳・その他					
水際	釣り						
	水遊び・その他						
堤防	散策・その他						
一般+特定+有料	施設+有料	高水敷	スポーツ				
			散策・その他				
		水面	水上スポーツ				
			水泳・その他				
	水際	釣り					
		水遊び・その他					
		堤防	散策・その他				
自然的	高水敷	スポーツ					
		散策・その他					
	水面	水上スポーツ					
		水泳・その他					
水際	釣り						
	水遊び・その他						
堤防	散策・その他						
水系全体	場所別	高水敷	スポーツ				
			散策・その他				
		水面	水上スポーツ				
			水泳・その他				
	形態別	釣り					
		水遊び					
		水面	水上スポーツ				
			水泳・その他				
水際	釣り						
	水遊び						
散策等	散策等						
	その他						

「川の通信簿」実施箇所利用者数水系集計

水系名		季節	調査日	天候	合計	利用形態別利用者数				利用場所別利用者数										
No.	実施箇所名					スポーツ	釣り	水遊び	散策等	水面	水際	高水敷	堤防							
		春季	4月29日 休日																	
			5月5日 休日																	
			5月 日 平日																	
		夏季	7月 日 休日																	
			7月 日 平日																	
		秋季	11月 3日 休日																	
		冬季	1月 日 休日																	
		春季																		
		夏季																		
		秋季																		
		冬季																		
		春季																		
		夏季																		
		秋季																		
		冬季																		
		春季																		
		夏季																		
		秋季																		
		冬季																		

参考資料：様式D-1

(1) 河川の概要

〇〇川は水源を〇〇県と〇〇県の県境の油坂峠(717m)に発し、〇〇峠を経て〇〇盆地を南から北へ流れ、〇〇市で〇〇川と合流し、〇〇町にて〇〇平野に入り西流する。そして、〇〇市〇〇地先において〇〇町〇〇池(1,100m)より流下する〇〇川と合流し、〇〇町で日本海に注ぐ幹川流路延長116km、流域面積2,930km²の河川である。

流域は〇〇県(〇〇町)および〇〇県(〇〇市、〇〇町など)の5市17町3村より構成され、流域内の人口は63万人、沿川市町村人口は59万人である。全流域ののうち山地が73%、平地は25%を占めている。

〇〇盆地より上流は、〇〇山脈、〇〇山地に囲まれて峡谷を形成している。河道の状況は、〇〇盆地より〇〇橋までは多くの瀬と淵が存在し、中州がみられるなど中流域の様相を呈している。

河川水は、上流域では〇〇ダムなどのダム群により貯留され、水力発電が行われている。一方、穀倉地帯で知られている下流域の〇〇平野においても農業用水や上水道用水、工業用水として利用されている。〇〇地点での平成〇年の水質はBOD75%値0.9mg/Lであり、ここ数年大きな変動はなく、横ばい状態である。

高水敷は右岸で2km~22km および24km~29km、左岸では4km~12km、および15km~27km付近に多く分布している。高水敷面積に対する河川利用施設(公園、グラウンド、自転車道等)の占有面積の割合はそれぞれ1.1%、0.9%、0.2%となっている。

河川利用は上流から下流まで自然的利用が主として行われており、休日には釣りや散策などの利用が多い。また、河川利用施設は全部で5箇所あり、いずれも無料である。利用施設は、公園が1箇所、運動場が3箇所、自転車道も整備されている。

かわまちづくり

都道府県名	申請主体	水系名	河川名	区間(距離標)	計画名

水辺の楽校

都道府県名	市町村名	水系名	河川名	区間(距離標)	名称

河川敷地占有許可準則に基づく都市・地域再生等利用区域

河川管理者	河川名	区間(距離標)	区域名称(主な利用形態)

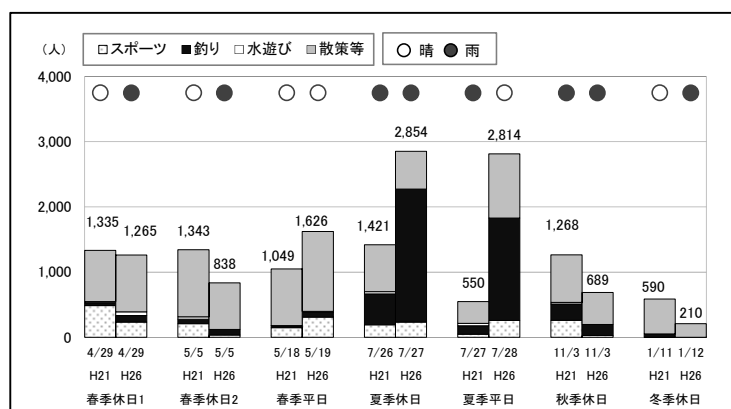
(2) 河川利用の概要

①各調査日の利用者数

〇〇川における各調査日の利用者数をみると、夏季7月27日(日)に2,854人が河川利用しており、最も多かった。

平成21年度と比較して、夏季7月27日(日)と夏季7月28日(平日)に利用者が増加しており、特に「釣り」の利用が増加した。これは、平成21年度の両日の調査日が雨天であったことが要因と考えられる。平成26年度の夏季7月27日(日)も雨天であったが、午前中や夜間に降雨があり、昼間には降雨がなかったこと、一方で平成21年度は昼間に降雨があったことにより、利用者に差が生じたと考えられる。

〇〇川では、夏季にアユ釣りの利用者が多いのが特徴で、連日1,500人を越す利用がみられた。これは、〇〇川が〇〇市街地に隣接しており、釣りスポットが河川全域に渡り多いことを反映している。各調査日において、「散策等」や「スポーツ」の利用者数が多い地点は、左右岸1~4km、右岸7~10kmであった。これらの地点は、主に河川公園である。



図Ⅲ.×× 各調査日の利用者数

②年間河川空間利用者総数（推計）

平成 26 年度の〇〇川における年間河川空間利用者総数（推計）は約 88.7 万人であり、沿川市区町村人口（約 61.7 万人）からみた年間平均利用回数は約 1.4 回／人であった。

平成 21 年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約 64.9 万人の減少となった。これは、調査日の利用者数が減少したことと、一年を通して雨の日数が多かったためである。一方、水系全体では減少しているものの、〇〇川では利用者は増加した。これは、平成 22 年度に「〇〇」が完成したためと考えられる。

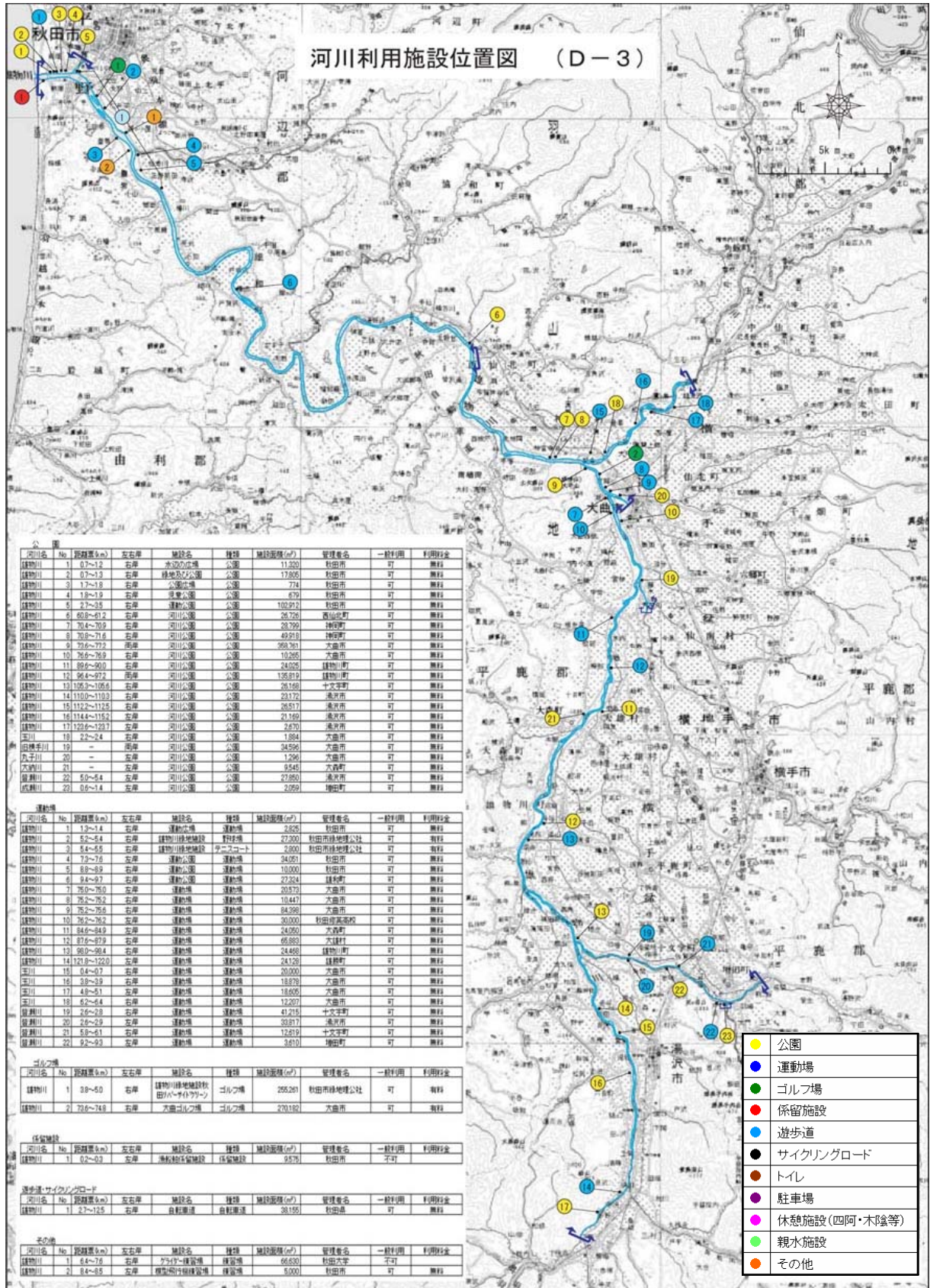
利用形態別では、「散策等」が 48%と最も多く、次いで「スポーツ」の 34%、「釣り」10%、「水遊び」8%であった。

利用場所別では、「高水敷」が 66%と最も多く、次いで「堤防」の 16%、「水面」10%、「水際」8%であった。

表Ⅲ.×× 〇〇川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態別	スポーツ	675	305		
	釣り	175	84		
	水遊び	106	74		
	散策等	580	423		
	合計	1,536	887		
利用場所別	水面	100	87		
	水際	181	71		
	高水敷	995	587		
	堤防	260	142		
	合計	1,536	887		

河川利用施設位置図



参考資料：様式D-3-1

施設一覧表

地方整備局名	事務所名	水系名	河川名
〇〇地方整備局	〇〇河川事務所	〇〇川	〇〇川

公園

河川名	No.	距離標 (km)	左右岸	施設名	種類	施設面積 (km ²)	管理者名	一般 利用	利用 料金
	1								
	2								

運動場

河川名	No.	距離標 (km)	左右岸	施設名	種類	施設面積 (km ²)	管理者名	一般 利用	利用 料金
	1								
	2								

ゴルフ場

河川名	No.	距離標 (km)	左右岸	施設名	種類	施設面積 (km ²)	管理者名	一般 利用	利用 料金
	1								
	2								

係留施設

河川名	No.	距離標 (km)	左右岸	施設名	種類	施設面積 (km ²)	管理者名	一般 利用	利用 料金
	1								
	2								

遊歩道

河川名	No.	距離標 (km)	左右岸	施設名	種類	施設面積 (km ²)	管理者名	一般 利用	利用 料金
	1								
	2								

サイクリングロード

河川名	No.	距離標 (km)	左右岸	施設名	種類	施設面積 (km ²)	管理者名	一般 利用	利用 料金
	1								
	2								

トイレ

河川名	No.	距離標 (km)	左右岸	施設名	種類	施設面積 (km ²)	管理者名	一般 利用	利用 料金
	1								
	2								

駐車場

河川名	No.	距離標 (km)	左右岸	施設名	種類	施設面積 (km ²)	管理者名	一般 利用	利用 料金
	1								
	2								

休憩施設（四阿・木陰等）

河川名	No.	距離標 (km)	左右岸	施設名	種類	施設面積 (km ²)	管理者名	一般 利用	利用 料金
	1								
	2								

親水施設

河川名	No.	距離標 (km)	左右岸	施設名	種類	施設面積 (km ²)	管理者名	一般 利用	利用 料金
	1								
	2								

その他

河川名	No.	距離標 (km)	左右岸	施設名	種類	施設面積 (km ²)	管理者名	一般 利用	利用 料金
	1								
	2								

参考資料：様式D-4

利用者数調査結果総括表

水系名	沿川市区町村人口	調査対象河川 区域面積 (km ²)	季節	調査日	天候	合計	利用形態別利用者数			利用場所別利用者数			利用区域別利用者数		
							スポーツ	釣り	水遊び	散策等	水面	水際	高水敷	堤防	施設の
			春季	4月29日 休日											
				5月5日 休日											
				5月 日 平日											
			夏季	7月 日 休日											
				7月 日 平日											
			秋季	11月3日 休日											
			冬季	1月 日 休日											
			春季												
			夏季												
			秋季												
			冬季												
			春季												
			夏季												
			秋季												
			冬季												
			春季												
			夏季												
			秋季												
			冬季												

「川の通信簿」実施箇所 利用者数調査結果総括表

水系名	No.	実施箇所名	季節	調査日	天候	合計	利用形態別利用者数				利用場所別利用者数						
							スポーツ	釣り	水遊び	散策等	水面	水際	高水敷	堤防			
			春季	4月29日 休日													
				5月5日 休日													
			夏季	5月 日 平日													
				7月 日 休日													
			秋季	7月 日 平日													
			冬季	11月 3日 休日													
			冬季	1月 日 休日													
			春季														
			夏季														
			秋季														
			冬季														
			春季														
			夏季														
			秋季														
			冬季														
			春季														
			夏季														
			秋季														
			冬季														
			春季														
			夏季														
			秋季														
			冬季														

〇〇水系 〇年度 河川空間利用実態調査 調査結果

写真

- 〇〇水系 〇〇川
- 〇岸〇kp
- 〇〇市〇〇地先
- 水面が穏やかな〇〇川の下流域は、レガッタやカヌー等の練習に利用されている。
(平成〇年〇月〇日撮影)

写真

- 〇〇水系 〇〇川
- 〇岸〇kp
- 〇〇市〇〇地先
- 〇〇広場では、年間を通して様々なイベントが行われている。写真は〇イベントの風景。
(平成〇年〇月〇日撮影)

写真

- 〇〇水系 〇〇川
- 〇岸〇kp
- 〇〇市〇〇地先
- 〇〇では渡し船が復活(〇~〇場の期間運行)し、観光客にも利用されている。
(平成〇年〇月〇日撮影)

写真

- 〇〇水系 〇〇川
- 〇岸〇kp
- 〇〇市〇〇地先
- 天端や高水敷に整備された道路は、サイクリングやランニングに利用されている。
(平成〇年〇月〇日撮影)